

テラーメイド薬物治療学 (Tailor-made Pharmacotherapeutics)					担当教員
					教授 西口 工司 教授 栄田 敏之 講師 辻本 雅之 講師 伊藤 由佳子 助教 河淵 真治 助教 峯垣 哲也
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
薬学専門教育（講義）	3年次 前期	講義	1.5単位	必修	

【概要】

患者の生理的状態や疾患の状態などを考慮して、患者個々に投与設計を行うことをテラーメイド薬物治療という。患者の遺伝的素因に基づく薬物治療の個別化を指すことが多いが、一方で、年齢、性別、体重、腎機能などを考慮した投与設計も、テラーメイド薬物治療の一手法といえる。

本講義では、患者個々に合理的な薬物療法を行うために、少し複雑な系における薬物動態と投与計画の基本を理解した上で、合併症、遺伝的素因、年齢的要因、生理的要因を考慮した薬物治療の個別化に関して学習する。

【授業の一般目標】

個々の患者に応じた投与計画を立案できるようになるために、薬物治療の個別化に関する基本的知識と技能を修得する。

[関連する卒業認定・学位授与方針] DP1・DP2

【準備学習(予習・復習)】

事前に教科書や配布したプリントに目を通すなど、予習した上で講義に臨むこと。受講後は、必ず講義当日のうちに講義内容を見直し、練習問題を使用するなどして復習すること。予習と復習を合わせて1週間あたり150分程度の学修が必要である。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	テラーメイド薬物治療とは	栄田	テラーメイド薬物治療の概念を理解する。	E4-(2)- -3
2	非線形薬物動態	栄田	非線形薬物動態を理解する。	E4-(2)- -3
3	線形2 - コンパートメントモデル解析	栄田	線形2 - コンパートメントモデルを理解し、薬物動態パラメータを算出する。	E4-(2)- -1
4	投与計画の基本 (1)	伊藤	投与計画に関する基本的な考え方を理解する。	E4-(2)- -2
5	投与計画の基本 (2)	伊藤	蓄積率、負荷投与量の考え方を理解する。非線形薬物動態時の投与計画を理解する。	E2-(5)- -1, E2-(6)- -1, E4-(2)- -3
6	合併症を考慮した薬物治療 (1)	辻本	腎機能低下時における薬物動態と、薬物治療・投与設計について注意すべき点を説明できる。	E3-(3)- -1, F-(3)- -1, 2
7	合併症を考慮した薬物治療 (2)	辻本	肝機能低下、心機能低下、低アルブミン血症などの患者における薬物動態と、薬物治療・投与設計において注意すべき点を説明できる。	E3-(3)- -2,3, E3-(3)- -3, F-(3)- -1, 2
8	ポピュレーションファーマコキネティクス	河淵	ポピュレーションファーマコキネティクスを理解する。	E4-(2)- -4
9	血中濃度測定による薬物治療の個別化	辻本	治療薬物モニタリング (TDM) の意義を理解する。また、TDMが必要とされる代表的薬物を列挙し、それぞれの特徴を理解する。	E2-(1)- -1, E2-(2)- -1, E2-(3)- -1, E2-(4)- -1, E2-(7)- -1, E4-(2)- -1,2,3, F-(3)- -5
10	遺伝的素因を考慮した薬物治療 (1)	西口	薬物の作用発現に及ぼす代表的な遺伝的素因について、例を挙げて説明できる。	E3-(3)- -1,3, E3-(3)- -2
11	遺伝的素因を考慮した薬物治療 (2)	西口	薬物動態に及ぼす代表的な遺伝的素因について、例を挙げて説明できる。	E3-(3)- -2, 3
12	年齢的要因を考慮した薬物	西口	新生児、乳児、幼児、小児、高齢者に対する薬物治療で注意すべ	E3-(3)- -1, 2

	治療		き点を説明できる。	
13	生理的要因を考慮した薬物治療	峯垣	妊娠・授乳期における薬物動態と、生殖・妊娠・授乳期の薬物治療で注意すべき点を理解する。	E3-(3)- -1, 2, 3
14	テーラーメイド薬物治療の意義と薬剤師の役割	西口	テーラーメイド薬物治療における薬剤師の役割を理解する	E3-(3)- -1
15	総括・まとめ			

	(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書	実践 薬物速度論 未定（出版準備中）	栄田敏之、伊藤由佳子、河渕真治 西口工司、辻本雅之、峯垣哲也	京都廣川書店 京都廣川書店

【成績評価方法・基準】

定期試験の成績にて評価する。(100%)

【評価のフィードバック】

合格発表日以降、Web上で公開する。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

オフィスアワー：木曜日の12:30～13:30

なお、出張等で不在となる場合があるので、事前にメール等で日時を確認することが望ましい。

場所 西口・辻本・峯垣：臨床薬学分野（本校地愛学館5階）、栄田・伊藤・河渕：薬物動態学分野（南校地S棟3階）